

麻布大学同窓会京都府支部平成21・22年度通常総会の概要

平成21年10月4日（日）、京都御所の向かいの「平安会館」で平成21・22年度京都府支部通常総会を27名（うち委任状15名）の会員の出席により開催しました。当支部では総会開催を2年に一度としており、今回は平成19年9月以来の総会となりました。

総会開催にあたり、平成20年に逝去された2名の支部会員に対して全員で黙祷を捧げ、議事に入りました。

総会は、桑原次郎支部長の挨拶及び来賓の麻布大学理事長・学長の政岡俊夫先生を紹介の後、議長に三輪良幸先生を選出、三輪議長のもと議事に入りました。

- 第1号議案 平成19・20年度事業報告及び収支決算について
事務局から報告後、監査報告。採決に入り、挙手をもって承認。
- 第2号議案 平成21・22年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
事務局から報告後、採決に入り、挙手をもって承認。
- 第3号議案 会費の賦課徴収について
事務局から報告後、挙手をもって承認。
- 第4号議案 支部会則の一部改正について
事務局から内容を説明後、挙手をもって承認。
- 第5号議案 任期満了に伴う役員の選任について
執行部に役員候補（案）を求める声があり、執行部案を提示。採決に入り、桑原支部長他役員の選任を挙手をもって承認。

議事後、特別講演として来賓の政岡俊夫先生から大学のある相模原市の政令指定都市への移行、淵野辺周辺の変化及び発展、大学の近況、大学教育の現状、麻布大学の進むべき方向などについて詳しく話をいただきました。今後の課題や同窓会の役割など出席会員が課題を共有し、学園発展のため同窓会への結束を確認し合うことができました。

また、会員の職場の相互理解を目的として、小動物開業の先生方の次に多数を占める公務員獣医師（家畜保健衛生所）職場の近年の業務概要等についてセミナーを開催し理解を深めました。

総会終了後、政岡学長にも出席頂き懇親会を開催。小林弘幸先生の乾杯で宴に入りました。今回は4名の同窓生が初めて総会及び懇親会に参加され、各自の近況を参加者全員が真面目に又はおもしろおかしく報告。一息ついたところで京都名産の鞍馬石や加茂石も配された「日本庭園」での記念写真撮影後、各々情報交換など時間も忘れ交流を深めた賑やかな会となりました。

なお、2次会は四条木屋町近くの鴨川や東山の絶景を望む「アトリエ西村」にて西村先生の奥様方の手料理や貴重なお酒、ワイン等をいただき盛会の中お開きとなりました。

次回の総会は23年となりますが、今後セミナーの開催等学術向上にも力を入れ、多くの同窓生が参加できる活動を行っていきたいと考えています。

（京都府支部事務局 森下賀之 S54卒）



懇親会の様子



名園での記念写真